

# 生成AI業務利用勉強会

---

地方創生推進室

若松邦茂

# はじめに

生成AIの業務利用のハードルの高さは  
現場と詳しい人との温度差



有名人

ChatGPTって  
なんでもできるんですよ～

なんでも聞いてください！



アプリ

なんでもできるというけれど  
仕事変わってくれないでしょ……

忙しいので毎日毎日使えない……



わたし1



わたし2

# 生成AIってどうなっとなん？




## 生成AIの性能（限界）を正しく知る

- ・ さんすうの問題（小学1年生レベル）

しっぽに てっぽうを つけている さるが どうぶつえんから にげました。てっぽうには、かみで できている 玉が 8ぱつ 入っています。 3ぱあるくたびに 1ぱつの 玉を うつとすると、なんぱで 玉は なくなるでしょうか。

# 生成AIのベンチマークの結果

知識はあるが、論理的思考力・読解力で大きく劣る  
=> 明確な欠点

科目	受験者平均 (予想)	 Bard	 GPT-4	 Claude 2
国語	59%	55%	62%	53%
英語リーディング	51%	76%	87%	79%
数学1A	52%	6%	35%	14%
数学2B	58%	20%	46%	25%
世界史	61%	57%	88%	63%
日本史	56%	50%	68%	62%
理科基礎	66%	52%	88%	61%
5教科7科目	60%	43%	66%	51%

【2024年最新】共通テストを色んな生成AIに解かせてみた (ChatGPT vs Bard vs Claude2)

# まとめと勉強会開催の目的

- GPT-4ならある程度内容を理解してアウトプットを出すことができる
- GPT-3 (3.5) は「オウム返し」程度の回答しか手に入らず、信用に足らない
  - => 業務で使うならGPT-4 (以上) であることは必須条件
  - => 論理的思考力を入力内容でカバーすることが必要

ChatGPTライクなWebサービス「リートン」が  
1月中旬より無料でGPT-4を利用できるようになった  
(※17時～19時限定でGPT-4 Turboも使用可能)

業務利用に応用できるプロンプト (テンプレート) を整理し  
業務シーンでの利用を目指す

# 「wrtn（リートン）」

- ・ 株式会社リートンテクノロジーズジャパンが開発するWebサービス（韓国系）  
代表者イ・セヨンは生成AIスタートアップ協会（韓国）の会長を務める  
シリーズAで16.5億円の資金調達を完了：2023年6月  
日本法人設立（2023年11月）
- ・ 1月中旬に一般ユーザーへ無料公開  
（12月中旬の事前登録者を対象とした先行公開を経て開始）

## ポイント

- ・ GPTを使用していること
- ・ 日本国内の企業でないこと

機密情報の入力には原則行わないなど、情報のインプットには十分注意する  
（インターネットに公開済みであるデータなどを利用する）

# 生成AIが利用できるシーン

---

文章の整理、添削、要約、回答の推測など

- ・ プレスリリースの作成、文体の書き換え（広報）
- ・ 会見等の原稿の作成（ドラフトが望ましい）
- ・ 一般公開しない資料の作成（共有資料・マニュアル・起案書）
- ・ 議事録の要約
- ・ おもちゃとして

# 生成AIで良い出力を得るコツ

生成AIは検索エンジンと仕組みが異なる

## 検索エンジン

短い検索ワードほど得意

Google検索では  
それぞれのWebサイトの  
語句や画像を収集・記録  
(クローリング)



## 生成AI

具体的な指示ほど得意

生成AIへの指示内容は  
全てインプットとして  
出力の内容に影響する

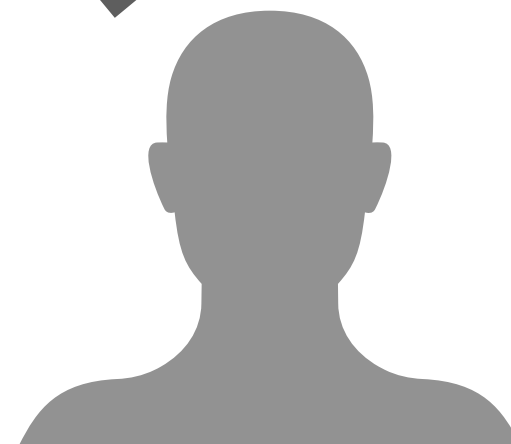
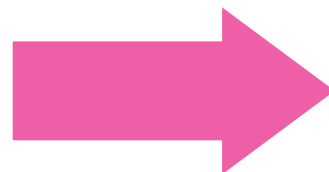


# 良いインプットを考えるマインド

(一旦) コンピュータに質問するという考えを捨てる



自分



もう一人の自分

「何も知らない自分」に考えさせる時の  
メモとして書くように心がける

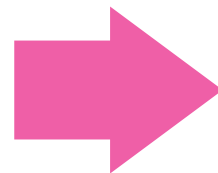
# 良いインプットを生み出すフレームワーク

## インプットを評価する7つのポイント

明確な質問	明確な質問や指示の方が、 質問者の意図を汲み取りやすい
具体性	具体的な要求をすることで、 回答の具体性が高まる
わかりやすい意図	質問の意図が抜け漏れなく表現できるように 質問者が質問を構造化する
文脈の提供	重要な文脈や背景情報を提供する
複数の質問	複数の質問をする場合は 考え方も指示する
段階的な指示	抽象的、複雑な質問をする場合は 段階的に考えさせる
校正とフィードバック	得られた結果を評価し 精度向上を促す

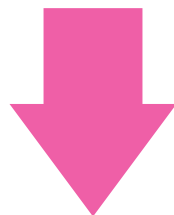
# プロンプトのフレームワーク

- 依頼を出す
- 役割を決める
- 形式を指定する
- ルールを定める
- 評価・改善を求める
- 参照知識・例を与える



## 簡易版

- 依頼を出す
- 役割を決める
- 形式を指定する



多いのでテンプレート化

# 生成AIで効率化を目指すコツ

効率化に貢献しているか？

=> 油断すると余計に時間をかけてしまうことも……

**無駄を回避するには……経験をつむ！**

- ・ 文章を出力させるのではなく、表を出力させる
- ・ 平時に慣れておき、いざというときの作業時間を短縮する
- ・ 出力中は頭のスイッチを切り替える時間に使う
- ・ 回数実行して自分だけのテンプレートを貯める
- ・ プロンプトの実行から手直しに移行する最適なタイミングを掴む

# 控えた方がいいこと

---

生成AIは「あなたの代行者ではない」ことを意識する

- ・ 生成物をコピーして成果物とすること（厳禁）
- ・ あなたが評価されるべき最終成果物に生成物を使用すること
- ・ 個人的なメッセージを作成すること
- ・ 個人情報を含む機密情報の貼り付け

# やった方がいいこと

「自由に使える」状態の前に「使いたくなる」状態になる

- テンプレートをつくる

毎日使わなければ使い方を忘れてしまう

大丈夫、使い方を忘れても、テンプレートさえあればなんとかなる！

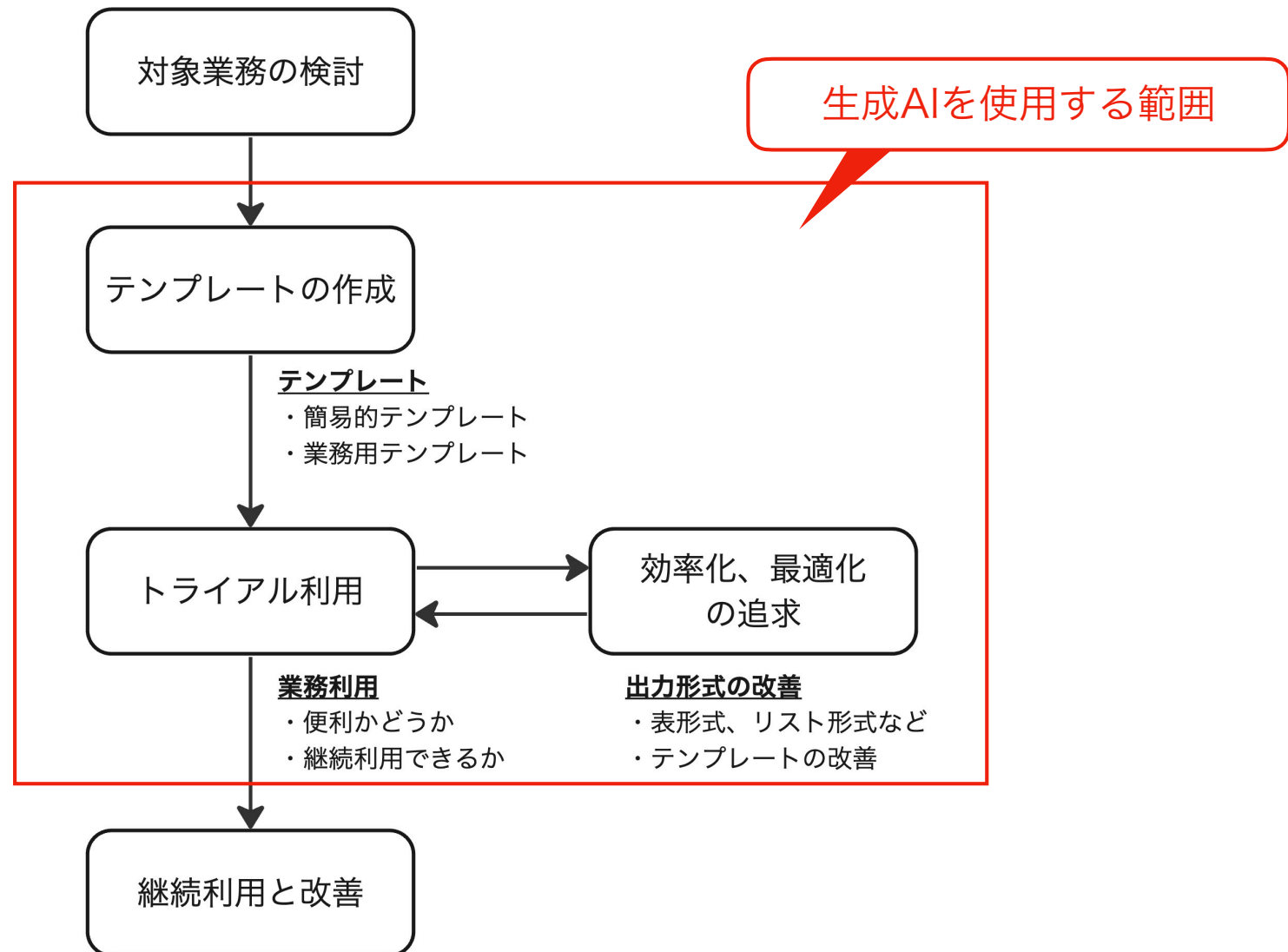
- 継続して使う

個別の業務だけで使う状態から、応用したくなる状態になれば最高！

- デスクにインターネットに接続できるパソコンを常備

生成AIの成果物をすぐにエクセル等にコピーできることが望ましい……

# 具体の業務利用に落とし込むには



ご参加いただきありがとうございました

---

業務改善に興味がある方（個人、グループ、課）  
個別にお声がけください